

トショロ生誕30年特別企画

「トショロ生誕秘話&生みの親インタビュー—挙公開」



トショロといえば、今は図書館内やイベントのあちこちで大活躍していますが、いつどんなきっかけで誕生したのか、その秘話を知る方も今では少ないと思います。

生誕30年を記念して、トショロ誕生について、また生みの親の現在地についてご紹介します。

トショロ誕生

トショロは平成4年10月公募により誕生しました。当時3歳だった齊藤真理恵さんのアイデアです。フォルムも今とはちょっと違います。



これがトショロだ！

本の森にすむ妖精。図書館の館内掲示やポスター、イベントに引っ張りだこ。最近では着ぐるみを着ることも。

暗くなると頭の上のライトが光る。夜は図書館に誰もいないので見たことがある人は少ない、...!?

鮮やかな黄色で誰からも愛される丸みのあるボディ

本が大好き！図書館にくるみんなのことも大好き！



【A3の齊藤さんのコメントから新たなトショロのイラストが生まれました】

トショロの生みの親の現在地

齊藤真理恵さん(トショロ公募当時3歳)

東京大学大学院理学系研究科生物科学の博士課程修了後、ニューヨーク州立大学生物学科の博士研究員、シカゴ大学医学部遺伝医学部門博士研究員を経て、2020年11月からノルウェー生命科学大学生物科学部統合遺伝学センターで助教授としてゲノム進化の研究に取り組まれています。

齊藤さんに聞いてみよう！Vol.1 (トショロについて)

図書館で活躍している「トショロ」の生みの親の齊藤さんに、トショロへの思いなどを伺いました。

Q1 トショロを考えてくれた当時のことは覚えていますか？トショロを描いてくれた時の気持ちなど覚えていたら、教えてください。

A1 楽しい生き物を作ろうと思って描きました。頭の上のライトを光らせて、暗いところでも本が読めます。

Q3 様々なトショロのイラストがありますが、「〇〇をしているトショロが見たい！」などリクエストはありますか？(色々なトショロのイラストをみていただきました。その中に卵から生まれているイラストがあります)

A3 卵から生まれるんですね。どんどん世界が広がっているようで嬉しいです。どなたが描いてくださっているんでしょう。いろいろな色や大きさのトショロが仲良くしている絵を見たいです。頭の上のライトを光らせて、暗いところでも本が読める、という設定が発揮されている場面を見てみたいです。

Q5 現在図書館で活躍しているトショロへの思いをお聞かせください。

A5 たくさんの本や人たちに会えて、いいなあと思います。こんなに長く頑張ってくれて嬉しいです。

Q2 トショロの絵本は覚えていますか？現在もご実家などにありますか？(トショロの公募当時、トショロを描いてくれた齊藤さんに、図書館職員作成のトショロの絵本をプレゼントしました。)

A2 あります！時々読み返しています。主人公の名前が私に似ているので、冒険を一緒にできるように嬉しいです。

Q4 もしもトショロになったら何がしたいですか？

A4 図書館で本をたくさん読んで暮らします。もしかしたら本の中の世界にも入れるかもしれません。閉館後の図書館ってどうなっているのでしょうか。本も眠るのか、色々なストーリーやキャラクターがこっそり溢れ出しているのか……。

公私ともにお忙しい中、齊藤さんに沢山の質問に答えて頂きました。その中から今号では「トショロ」に関する質問を掲載しました。

次号(図書館だより64号 12月発行予定)では、図書館での思い出や読書に関する質問を掲載する予定です。お見逃しなく！

